

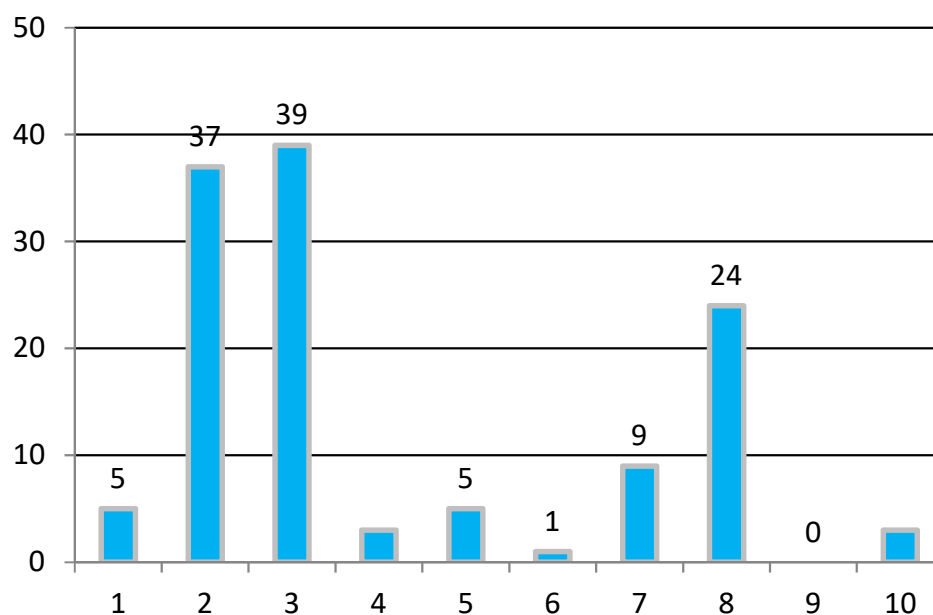
## H29年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/グラフ

### [1] 回答者数

MC1	98
MC2	3
DC1	2
DC2	5
DC3	1
DC4以上	0
PD	0
その他/教員など	0
未回答	0
計	109

### [2] あなたの所属を教えてください。

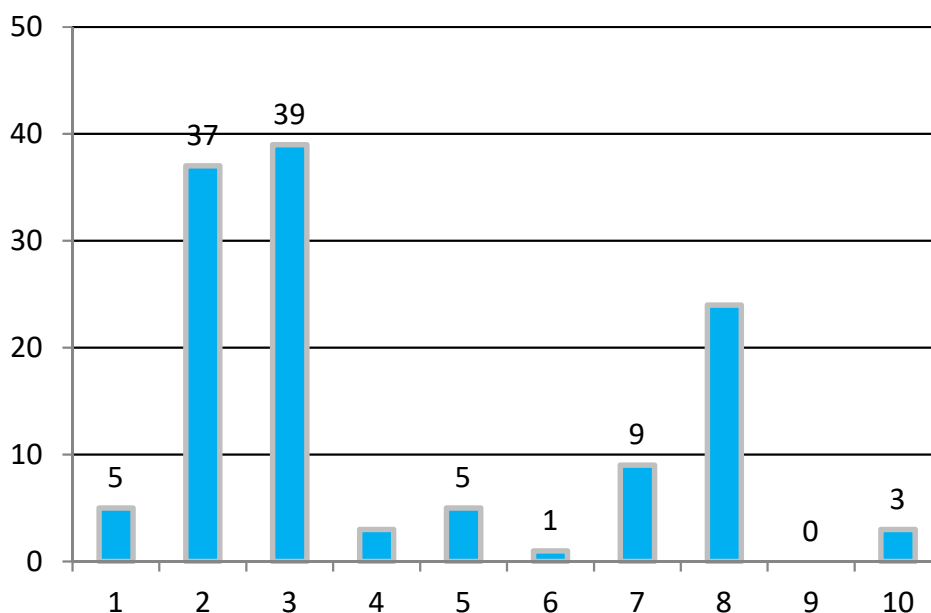
- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院  
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院  
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



## H29年度 Advanced COSA (1) クリッカーアンケート/グラフ

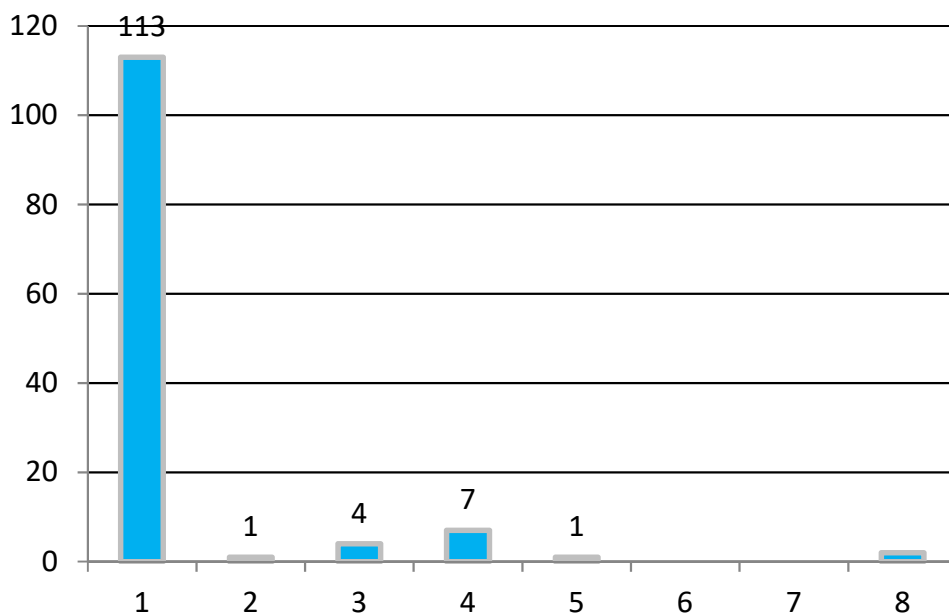
[1] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院  
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院  
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



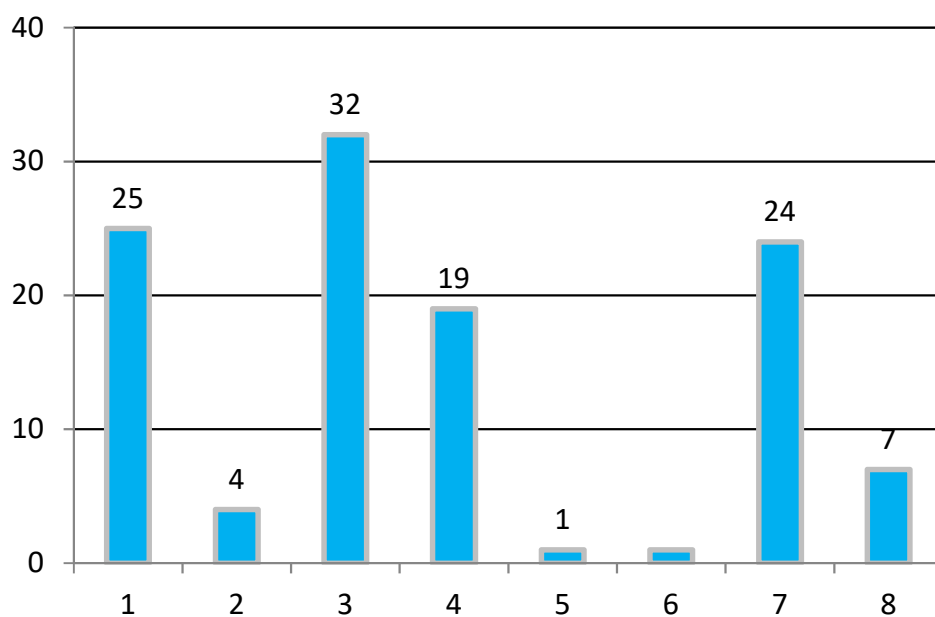
[2] あなたの学年・属性を教えてください。

- 1.MC1 2.MC2 3.DC1 4.DC2 5.DC3 6.DC4以上 7.PD 8.その他/教員など



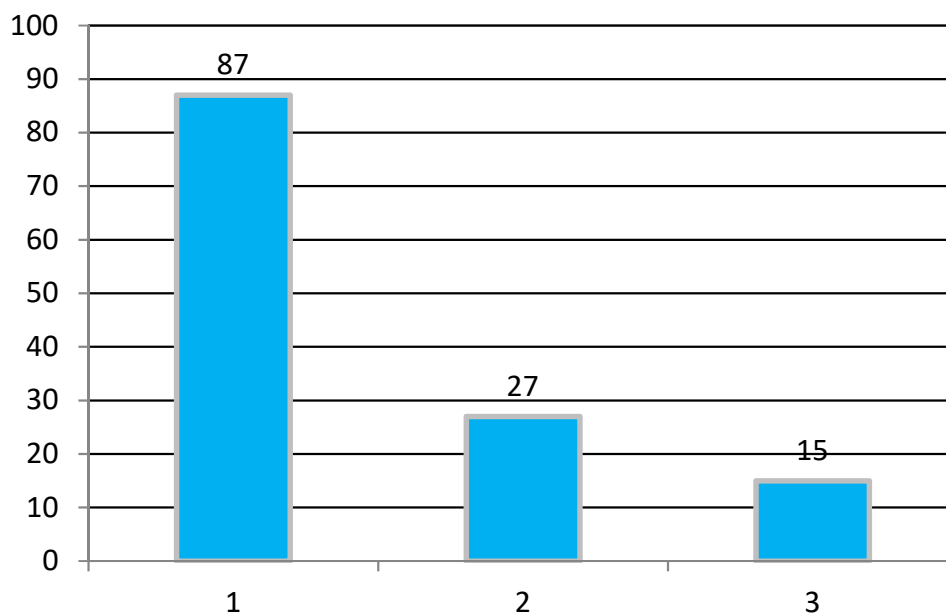
[3] あなたの出身学部を教えてください

1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



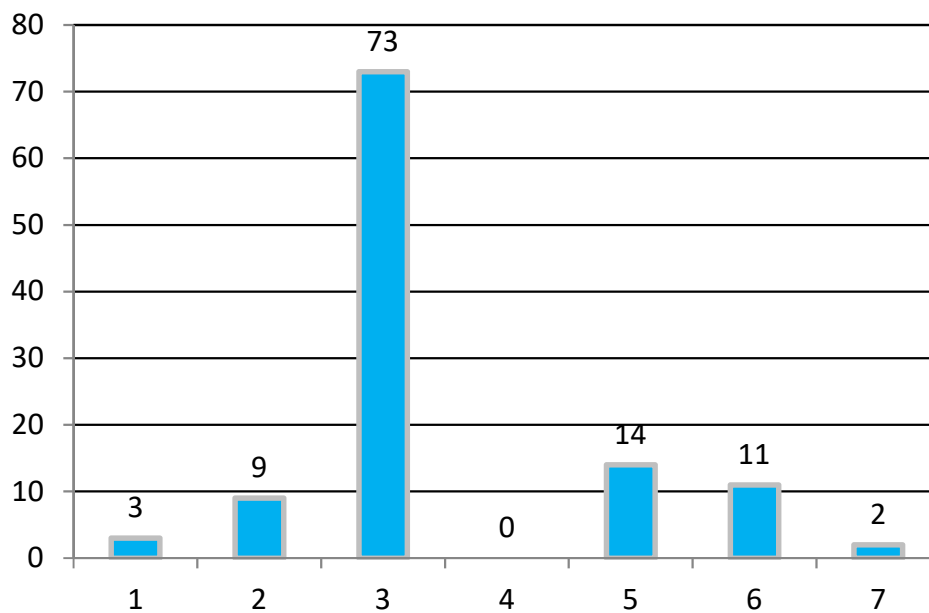
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上



[5] どのような分野への就職を希望しますか？

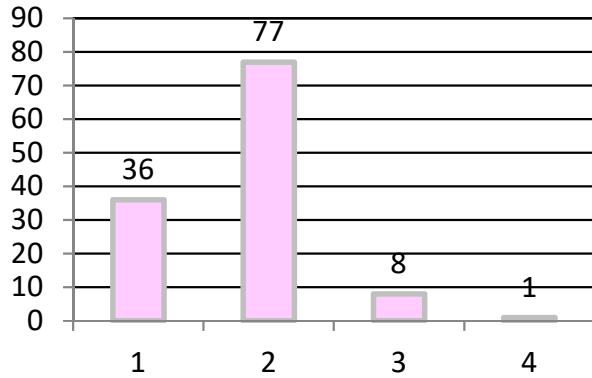
- 1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他  
6.今は考えていない 7.企業



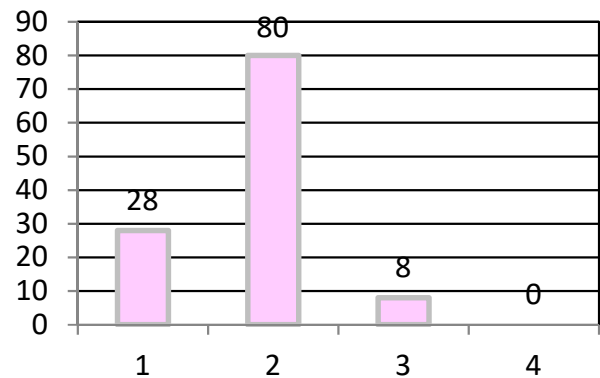
### [6]どのような分野の企業に就職したいですか？

- 1.専門にマッチした企業 2.どこでも特に拘らない 3.専門とは異分野の企業 4.企業就職は考えていない

<受講前>



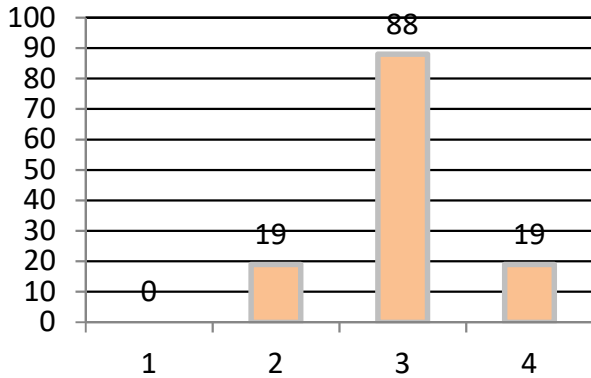
<受講後>



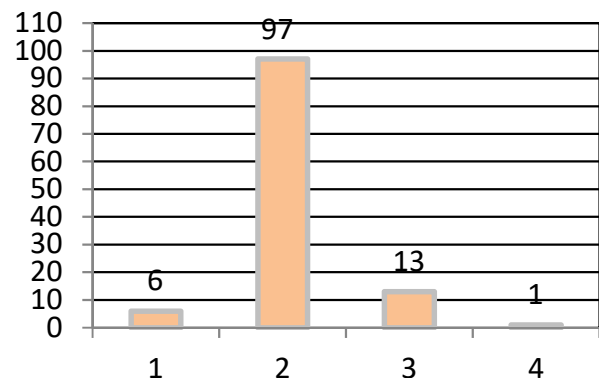
### [7]企業の研究開発についてあなたはどの程度理解していますか？

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解していない 4.全く理解していない

<受講前>

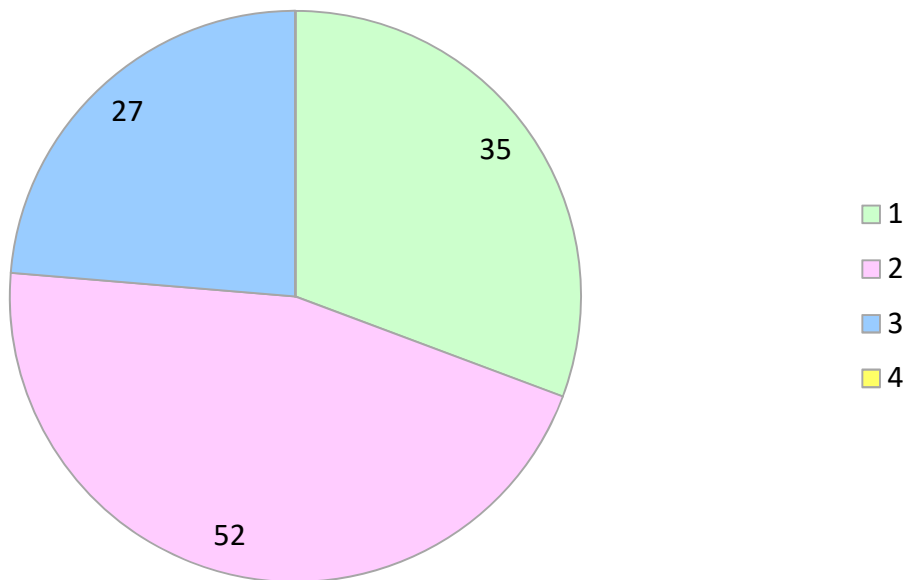


<受講後>



[8] 企業での研究開発業務についてある程度以上理解したあなたはそこに魅力を感じましたか？

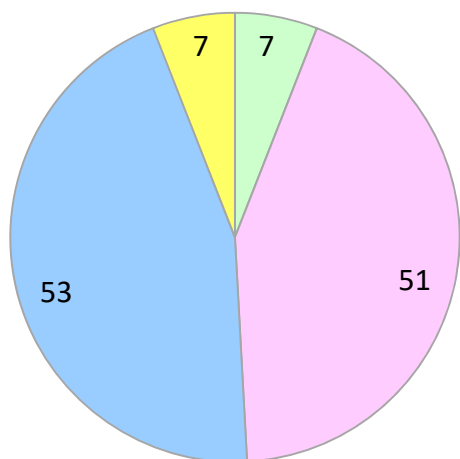
- 1.大変興味深くおもしろい
- 2.ある程度は興味を感じた
- 3.あまり興味がわかなかった
- 4.全く興味がわかなかった



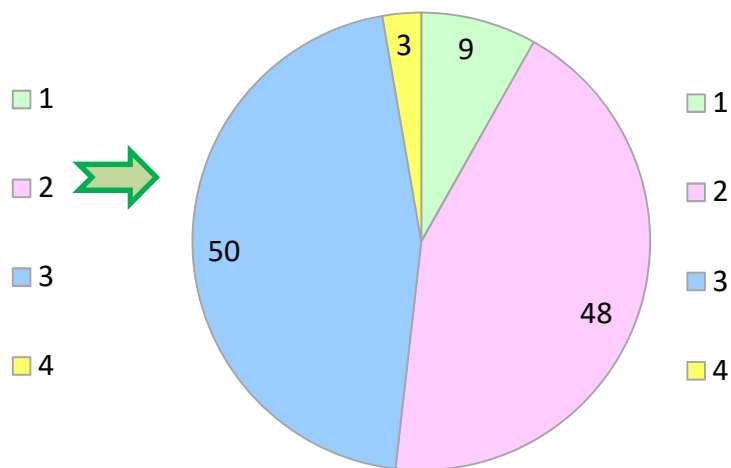
[9] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？

- 1.あくまで自分の専門分野
- 2.科学技術分野なら何でも
- 3.事業やスタッフでもOK
- 4.科学技術系以外の業務を

<受講前>

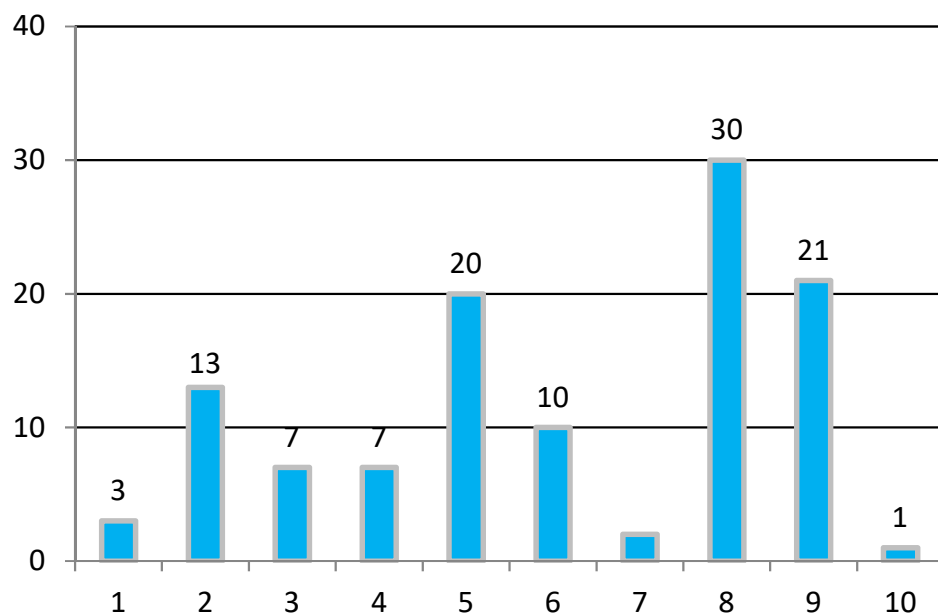


<受講後>



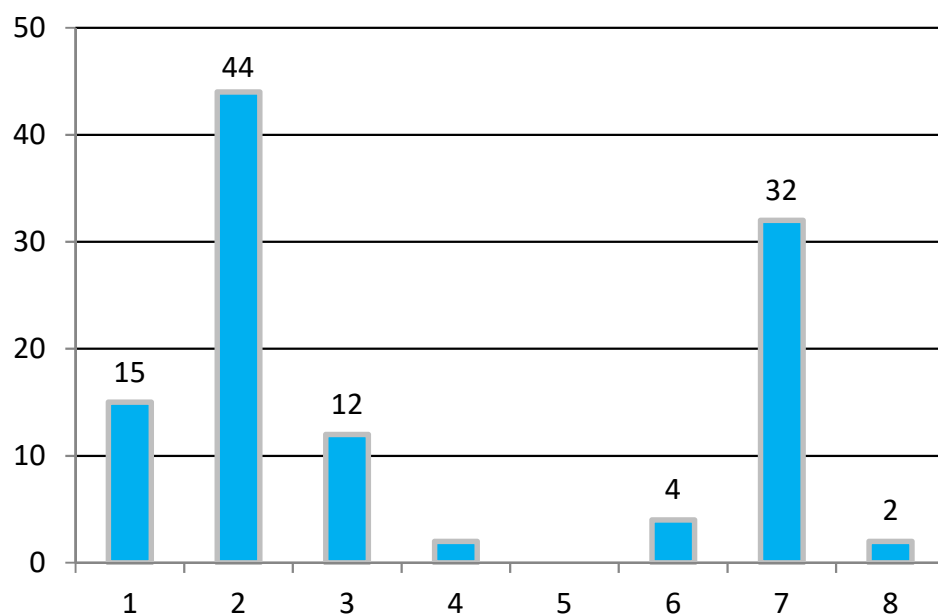
### [10] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？

- 1.教員からの情報 2.友人/知人情報 3.S-cubicのホームページ 4.S-cubicからのメール  
5.掲示板ポスター/ちらし 6.シラバス 7.食堂の三角/蒲鉾POP 8.大学院入学式ガイダンス  
9.他の講義での紹介 10.その他



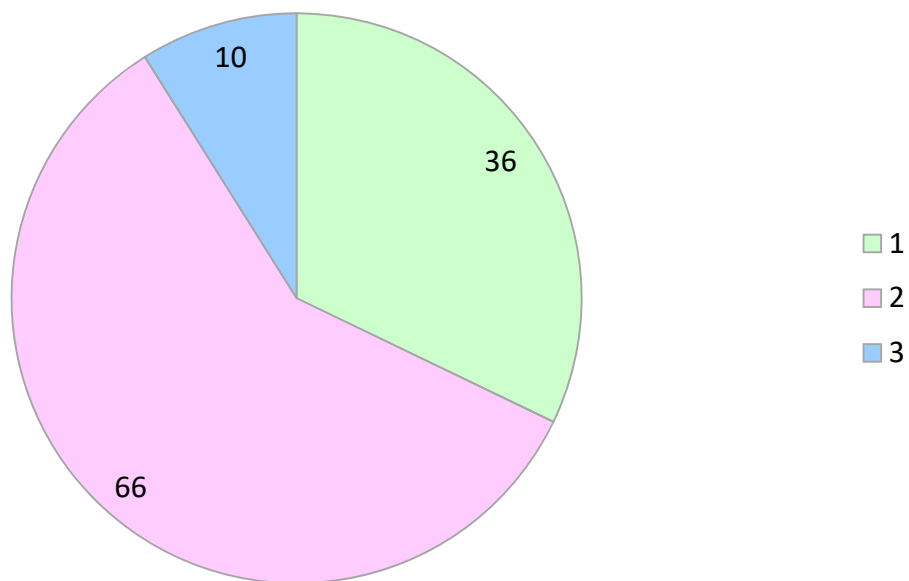
### [11] A-COSAに参加の理由は？

- 1.興味ある企業が参加していた 2.企業の研究開発を知りたい 3.企業の人事制度や勤務実態を知りたい  
4.講師の先生と意見交換したい 5.教員の勧め 6.友人/知人の勧め 7.単位が欲しい 8.その他



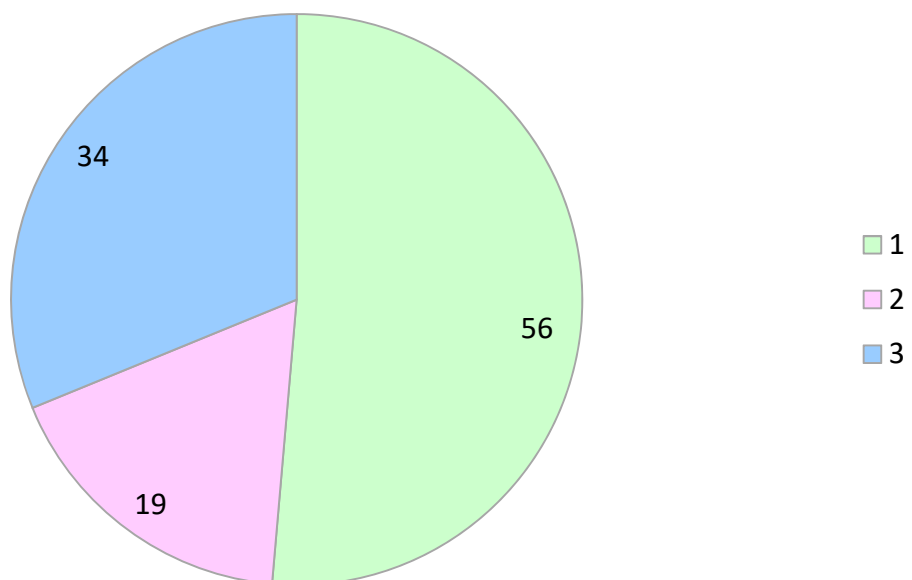
[12]A-COSAにまた参加したい？

1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



[13] このようなセミナーの開催希望日時は？

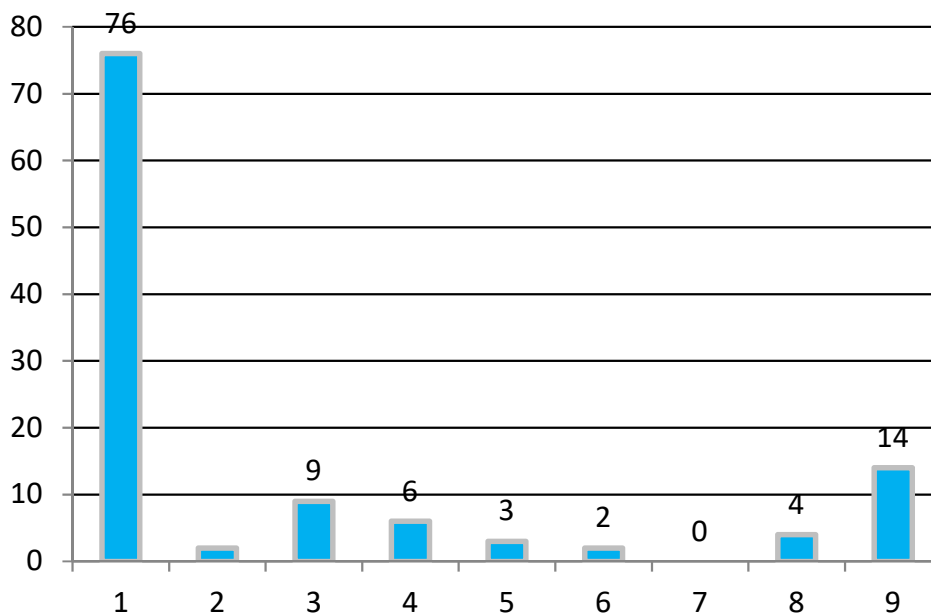
1.平日に開催が良い 2.土日の週末が良い 3.都合つけばいつでも





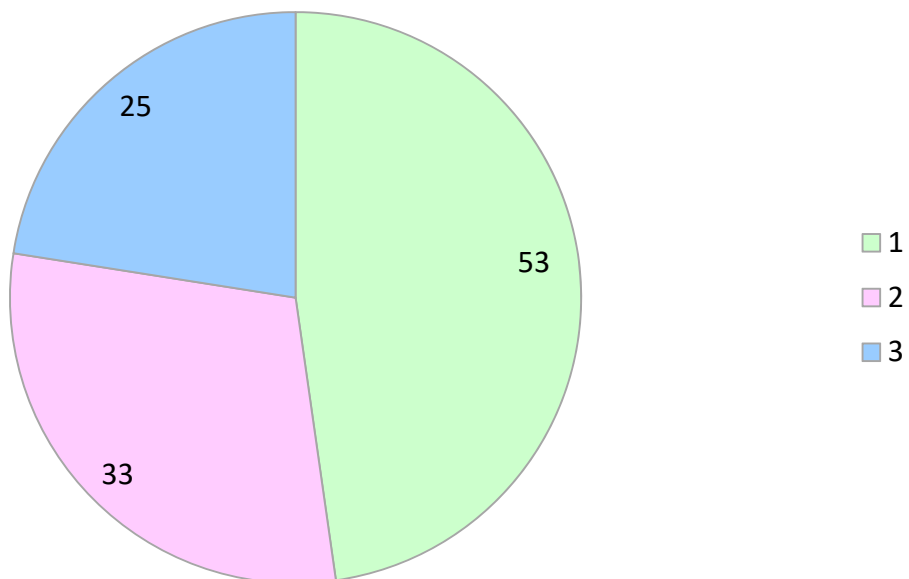
[14] あなたの研究の科学技術分野を教えてください

- 1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノ・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤  
8.フロンティア 9.その他



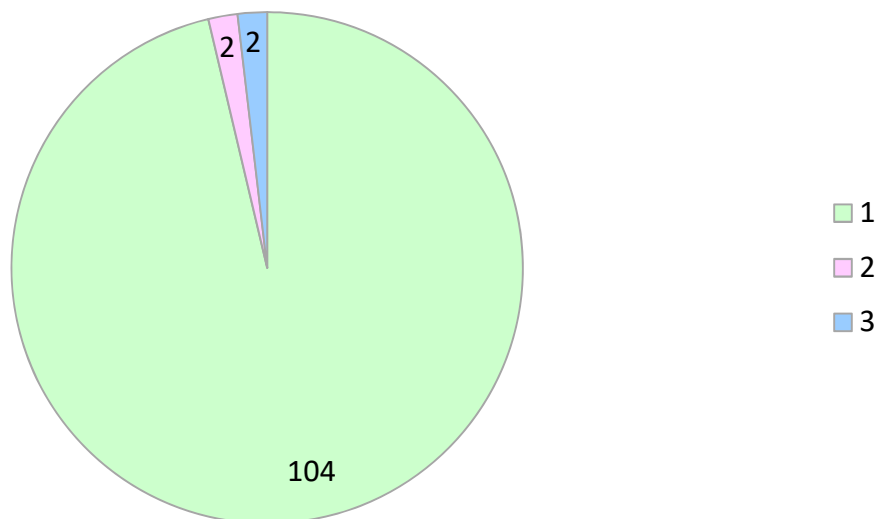
[15]あなたは研究の専門分野以外に社会で活躍できる(自己アピールができる)能力はあると思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



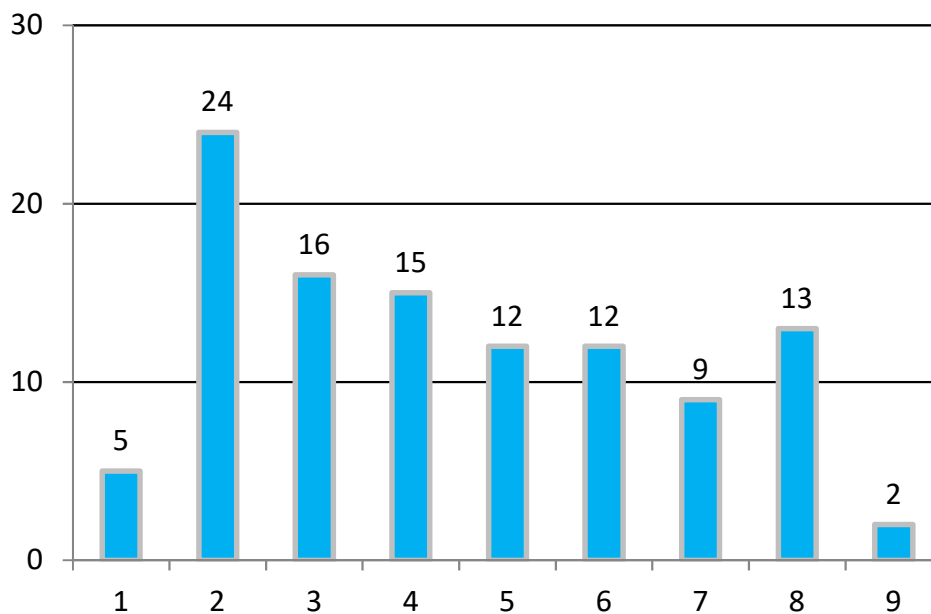
[16]あなたは今後、社会で活躍できる能力を伸ばしたいと思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[17]研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？

- 1.知的財産 2.マスコミ 3.商社関係 4.公的機関 5.医療関係 6.環境関係 7.コンサル 8.ベンチャー  
9.その他



## H29年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/自由記入欄

No.	記述内容
<b>[2] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。</b>	
1	キューピーさんの技術開発プラットフォームが印象に残りました。研究内容よりも、「研究は会社としてどのように進めていくのか」の方が働き方や学生との違いと関連すると思います。キューピーさんの例を知ったことで、他社はどう行っているのか、今後注目してみることが出来るようになりそうです。
2	学年の近い先輩のお話を伺えたこと。また、4社のお話を聞いただけでも、それぞれの企業のカラーがはっきり違って感じられたこと。
3	アステラスの齋藤さんのお話で、製薬会社で働く動機などが参考になりました。仕事の効率化を図るのが大変なんだなと思いました。
4	企業が博士を求めていることとどのような博士を求めているかについて知ることができた。専門性の高い知識が博士には必要であるということが印象に残った。企業に就職してから博士を取得する人が多いということを知れたのもよかった。
5	キャリアは自分で切り開くということ。自分の分野に関わらず視野を広く持つということ。
6	博士が多かったです。もう少し修士の方の声を聴きたかったです。
7	博士での就職のメリットを知りました。これから進路選択の際参考にさせていただきます。
8	博士号を持つ人へ期待することをそれぞれの企業の方が話してくれたので進路を考えるまで参考になった。
9	企業の研究開発のトップの方に話を聞くことが出来たこと。
10	企業の雰囲気を知ることができた！自分の立ち位置を掴むには視野を広く、様々な価値観に触れることが大切だということ。
11	企業HPではなかなか知ることの出来ない深い内容について聞くことができたのは、大きな収穫であったと感じました。特に、キューピー和田さんのお話では、キューピーさんの隠れた一面を見れ、大変印象に残りました。
12	企業側が求める人材を知ることができた。
13	今までPh. Dは将来の幅を狭めてしまうという印象を持っていましたが、実際は全く逆でむしろPh. D取得者が必要とされていることがわかりました。
14	実際の企業の声聞いてよかったです。
15	卵白の研究について、学部時代に卵白を扱っていたこともあり、非常に興味深い内容だった。
16	実際に企業の方がどんな人材を欲しているのかが、全体がよくわかって参考になった。

17	企業で働くということが、あまり考え始めていなかったこともありますが、どの演者の方も各々魅力があり、より調べてみたくなりました。
18	年齢の近い働き始めの方のお話しが聞けて、とてもためになった。 企業では、少ない時間で業績を上げることが重要であるということで、今後の研究生活で意識していきたいと思います。
19	IHIの方、技術的な話が面白かった。
20	全体を通して、博士課程に進むイメージが変わった。
21	懇親会でキューピー和田さんに聞いた、就職活動に関するアドバイスが最も参考になりました。
22	企業のトップの方々や、近い年齢の方のリアルな現状や求める人物像等がイメージが出来るようになったと思います。
23	企業の博士課程卒の人間への需要が高まってきていること。
24	博士課程のキャリアパス。
25	企業の研究と大学の研究の違い。
26	企業によってMとDの求めている数や度合いも様々だったが、近年Dを求めているのが多いというのは意外だった。
27	企業と大学の違いや、企業が博士に求めていることなど、企業についての知見ややるべき事など知ることができた。
28	キューピーのアドバイザー和田さんのお話しで出てきた、ブーストゲートの考え方は研究室においてもとても役に立つと思いました。
29	キューピーの仙川キューポートが吹き抜けでよいなと思ったこと。 博士をとっていくと有利になることがあること。
30	博士の需要が上昇していることを実感できました。
31	実際に企業で行っていることや、プロジェクトへの取り組み方法など、内部の人間により詳しく知ることができたことがよかった。また、就活の取り組み方にも興味を持てた。
32	キューピーの卵の話。修士より博士の方が重視される。
33	やってみることが大事だ、積極的に行うこと。
34	企業で働いている人の実際の話。専門性の重要性。

35	研究に携わっている方のご講演によって、企業での研究開発についての理解をさらに深める機会となりました。質疑・論議の場面では、学生とのディスカッションにより企業側の率直なご意見や私と同じ立場の学生がどのようなことを考えているかを知ることができました。
36	ドクターに対するニーズの理解が深まった。
37	ブースターの役割：「指摘」ではなく「助言」を行う。BtoB企業は自分の専門性を見られる。重工業の企業でも生物系の人材が必要。
38	やはり「一をやりたい」と先を見ている人を企業はとりたいのだなと感じた。ただ、どの企業の話聞いてもパッとやりたいことが見つからなかった。
39	IHIな鉄鉱系のイメージが強かったが、ips細胞等にも注目していて、受講前に比べ企業に対する視野が広がったと感じた。
40	博士課程を修了した人がどのように社会で扱われていて、博士課程をとっていないと海外では研究者として認められないことが印象に残った。
41	企業が異なっても、博士に求められること、研究者に求められることは基本的に同じで、就活する上で企業選びの視野が広がった。
42	博士を取るメリット。先輩の体験談。博士への期待。
43	キューピー和田さんのブースターの話が一番面白かった。司会者の話の運び方で、アイデア・プロジェクトの進み方が変わるということが印象深かった。つまらないことをコメントしてしまうゼミにならないように心がけようと思った。
44	企業の研究では時間が限られており、いかに効率よく成果を出すか重要なのだということがわかり企業と大学の違いを実感した。
45	「ご指摘」というところで「ご助言」と言うことでポジティブな意見がもらいやすいということ。
46	自分が理解していなかった業界を知り、興味を持つことが出来た。また、自分の甘さを若手研究者の演者さんの経歴から自覚できるのでこれから自分が行うべき努力の方向性を見直せた。
47	コミュニケーション、ディスカッションがどの企業でも推進されている。
48	博士課程の人間が重宝されるのだなと思いました。
49	企業の研究開発やオフィス（研究室）の詳しい部分を知れたのがよかった。
50	企業と大学の違いや、企業が求める理系学生を知ることができ、参考になった。
51	実際の研究開発の中で、所長や本部長クラスの方が、どのような視点、考えで研究を進めているのかがわかりました。研究開発の中では広い視野、社会に対する広い知識が必要であること。
52	それぞれの会社で欲している人材で、どういう人が欲しいのかということが印象に残った。特にキューピーなどの身近な会社は興味を持って聞けた。

53	株式会社IHIの久保田さんに話していただいた、博士出身者に求める能力についてはとても参考になりました。また、海流を用いた発電についてもとても興味深く聞くことができました。
54	ディスカッションが企業では頻繁に行われているのだなと思った。
55	メーカーが主に市場のニーズの把握、最先端技術、英語力を求めていることがわかった。
56	企業における研究について。
57	様々な業界の研究者や人事の話聞いた中で、博士に対する期待で実績はもちろんのこと考え方を重視していること。
58	専門性を高めること。自分の強みをつくることを意識することが非常に大切だと感じました。企業に就職するか、進学するのかを迷っていますが、自分の研究する力、専門性をつけていきたいです。
59	アステラスの齋藤さんのお話しにおいて、大学と企業の違い（企業は短時間で業績を上げる人が評価される）など。
60	博士の重要性が高まってきているということを知り、博士という選択肢も考えられると思った。
61	博士課程に進みたいと考えていたので、博士以降の自分の姿が想像出来てよかった。
62	食品メーカーに興味があったため、特にキューピーさんのご講演は参考になった。他の企業の方のお話しでも、一研究者として求められる責任感や自立性などについて触れられており、今後の生活の仕方を改めて考えさせられた。
63	OGの方と質疑応答出来てよかった。
64	様々な企業が様々な目的で研究開発をしていることがわかった。どの企業もより良い研究を行うための工夫をしているんだなと思った。
65	企業の研究職で働く方々の話を身近に聞くことが出来てとても良い機会でした。また、質疑応答があることでより一層理解が深まったり、企業で働くイメージが沸きやすくなりました。
66	時間の使い方や何を取り込めばいいかなど。今の自分が早速行えることが聞けた。
67	企業で働くイメージを具体的に持つことが出来た。
68	講師の方々の話は今後キャリアを考える上ですべて参考になりました。特に企業では広い視野や、短時間で成果を得ることが求められていることが知れてよかったです。
69	企業が何を目指し、研究しているかよく理解できた。私が就きたい食品メーカーキューピーのお話しを聞くことができて想像の幅が広がった。
70	企業の方の経営に対する考え方。全体として博士に対する情報が多かった。

71	自分の分野から思い込みで企業をしぼりすぎずに、広い範囲で考えた方が良いということが参考になった。
72	企業就職された博士課程卒業の方は少ないと思っていましたが、意外と多いことがわかり考えが広がりました。
73	お話しに出てくる議題がキャリアマネジメントセミナーとも重複していたと思いますが、復習になって良かったです。
74	企業の研究職の博士の必要性が強いことがよく分かった。それぞれの企業で色が違うことがわかり、就職活動をする際は自分なりによく調べようと思った。
75	獣医師免許を取得した上でPh.Dを取得して活躍されている齋藤さんのお話しが自分とバックグラウンドが似ていて非常に参考になりました。3年生ドクターの先輩に、「4年生は研究コースじゃないからね、どんな風に活躍できるかわからないよ」と言われたことがあって不安に思っていたんで、齋藤さんの活躍をお聞きして安心しました。人間として必要な能力、研究者としての力を持っていれば、どこでも活躍することが出来ると思いました。
76	企業での博士のキャリアアップや産業界からの要請を聞いたこと。
77	卵のすごさを身に染みて理解した。海外企業とやりとりする際、博士卒の人がメンバーにいただけで相手の対応が劇的に変わるという話が印象深かった。
78	普段あまり知ることが出来ない企業の人の生の話を聞いて、ネット等では得られない情報を聞くことができました。よりよい商品を出すため、よい研究をするための工夫や企業ごとに違う考え方など就職活動をして途中で知っておきたいこと、説明会では聞けないようなこと等イメージできました。就職活動への意識が上がった。
79	キューピー和田先生のブーストゲートの話は面白かったです。上がってきたアイデアをポジティブな見方で後押しするような形になっているのはすごくいいシステムだと思いました。
80	大学での研究、特にドクターが企業において思っていたより高く評価されることがわかった。
81	研究職における博士を持っているかどうか、自分が思っていた以上に重要な物であることがわかったのは非常に参考になりました。
82	企業の求めている研究者としての人材のイメージがかなりクリアになった。キューピー和田さんのおっしゃっていたブースターが印象に残った。そのような環境で研究開発したいと強く思った。
83	やはり研究者を目指すのならば、博士課程が重要であるということを再認識した。
84	キューピーの事業内容でマヨネーズのイメージが大きかったが、卵全体にまつわる研究をしていたこと。
85	修士卒でも博士卒でもその分野について専門家になることが必要。就職活動は自分で戦略、優先順位を立てて早めに行動する。
86	キューピーさんでは社内で他部署の人たちとの交流や気分転換をすることを、建物の構造からもそういった環境を作っているということが印象に残った。
87	様々な企業の人に来てくれたのでいろいろな業界について知ることが出来た。特にIHIの久保田さんの会社の修士・博士のイメージが聞けて良かった。
88	これまで企業に入っても試験管を振るような仕事を続けたいと強く思っていたが、生産部や知財部、研究開発全体の指揮を取るような仕事など、様々なことに挑戦してみたいと思うようになった。



89	ドクターコースを経て、博士号を獲得することが研究職に就く上でどれほど重要かよく理解できた。
90	アステラス製薬の齋藤さんの大学生生活から、博士、企業のお話を聞いておもしろかった。私も専門にとらわれず、自分の興味を持った分野・企業を見つけていきたいと思った。
91	博士課程の学生と修士課程の学生に対して企業が求める能力の違いが今回の講義で明確になった。
92	企業が新しい事業や商品の提案を行う時に、どのように話し合いが進められていくのかを知ることが出来てよかった。企業が行っている内容は違えど、求められる人物は似ていることがわかった。
93	自分が考えていたよりも、企業が博士卒の人材を欲しいと思っていたこと。
94	キューピーの企画に関しての話がとても参考になった。私も実践したいと思った。
95	キューピーの和田さんのブースターゲット法の話で、つまらない指摘ではなく、うまくいくように上手に助言するという話が印象に残った。
96	キューピー和田さんのお話しでは、卵の機能性がとても印象的でした。現在でも卵についての研究が行われているのを知り、身の回りにも見方を変える等をすればまだまだ新たに発見があるのだなと感じました。
97	博士の学位はとって損にはならないということ。研究開発について、オープンな方法に変わってきていること。限られた時間で正解を出すことが企業では求められていること。
98	学校と企業の研究の違いや、若手研究者に求められていることなど、企業の研究開発職の実態について知ることができた。
99	各企業の方が自企業について以外の研究開発の実際をはなしていただき大変興味深かった。

**[3] 今後、Advanced COSA (1) で講演してほしい講師の分野(企業/業種)を教えてください。**

1	食品・製薬・化粧品の企業さんが最も生命科学院・農学院の学生のニーズを満たすと思います。
2	バイオ系の企業（食品に限らず）総合・化学・技術系商社。
3	物づくり、アイデアを生む中小企業、大企業。
4	今回と同様に食品・科学、製薬系の方の話が聞きたいです。
5	食品の中でも基礎研究を商品開発に結び付けるような人、食品会社の若手研究員の方。
6	アサヒビール等。商社。
7	日本たばこ産業（JT）
8	化学メーカー、電気、自動車
9	製薬企業
10	乳業メーカー。食品業界。
11	コンサルタントや化粧品。また、学生の知らないような理系が活躍できる予想外の企業や業種があればそのお話を聞きたいです。

12	趣旨とは異なるかもしれないが、修士卒の人の話を聞きたい。文系の人の話も参考にしたい。
13	化粧品会社。
14	農業系、ベンチャー企業。
15	医療広告。
16	明治、大塚製薬。
17	製薬、化粧品会社、食品会社
18	公務員の技術系の業務や活かすことが出来る職種。
19	素材メーカー
20	化学企業。有機化学、有機金属が絡んでる企業の話を知りたい。
21	ビール会社、化粧品会社
22	食品、商社（専門）
23	製薬、飲料、食品、化粧品
24	精密機器（村田製作所、島津製作所）
25	化粧品、食品
26	食品分野
27	修士卒で研究職orそれ以外（製造・安全管理）の業種の方のお話を聞きたい。
28	化粧品会社。
29	製薬、食品、バイオ産業
30	化粧品、鉄鋼
31	生物系の分野。理系→文系職に進んだ方のお話を伺いたいです。人材育成本部のポリシーからずれるかもしれませんが。
32	製薬、食品。
33	IT系、機械学習系
34	環境系の仕事など。ベンチャーも気になる。
35	BtoBの会社。食品、消費財。
36	食品や化粧品、医薬品のメーカー等
37	消費財のBtoCの企業（ユニリーバ、資生堂etc）
38	住友化学などの化学メーカー、バイオマテリアル系の企業。
39	キューピーなどの食に関わる分野、工学系の分野、理学系の分野等分野を分けてやるのもありだと思った。
40	バイオ、細胞工学系
41	業種としてIT業界の講師が来てほしい。今後どの業界でも必要であるから。
42	製薬、化学メーカー、化粧品
43	金融系など

44	映画会社
45	環境分野
46	再生医療に関わりのある会社の講演を聞きたい（特に細胞を取り扱う会社）
47	できれば北大卒の講師は理・農学部など資格のないような学部の方にしてほしい。
48	食品・製薬
49	ペットフードや殺虫剤を作っている企業
50	日立製作所、富士通、NEC、NSSOL
51	ブリヂストンや横浜ゴムなどの高分子分野。BtoCの会社。
52	外資系の製造業。化粧品。
53	重工業、プラントエンジニアリング
54	私は理系なので就職したいとは思っていないが、文系寄りの企業もあると嬉しい。
55	食品・バイオ系ベンチャー
56	製薬、化粧品
57	化学メーカー、商社
58	理系出身の講演者で、文系出身の割合が多いような会社の方（例えば広告代理店、新聞社など）
59	食品
60	WaKo、食品系（佐藤水産など）、ニトリ
61	生命科学系の企業の方のお話を聞きたいと思う。
62	生命科学系に力を入れている企業
63	食品業界、生産職、総合職
64	開発研究職以外の品質保証や検査業務に携わっている方。 修士理系出身だが、文系企業or文系職に就いて活躍している方。
65	食品分野、製薬分野
66	食品企業、BtoCだけでなくBtoBについてもっと知りたいです。
67	今日もいらっしゃっていましたが、重工業と化学分野の方に話を聞きたいです。
68	食品メーカー
69	食品産業
70	商社
71	食品、化粧品
72	エネルギー分野、環境分野
73	今後も、製薬企業から講師を招いていただきたいです。
74	重工業、電機等のメーカー、中央研究所

75	・飲料や製菓会社 ・商社など、比較的文科系職が強い職種のお話も聞いてみたいと思いました。 ・外資系企業のお話を聞き、日系企業との業務形態や雰囲気の違いを感じてみたいと思いました。
76	製菓会社は引き続き聞きたいです。 あと、国の研究機関もまた企業とも違うと思うので、聞きたいです。
77	生物系、応用生命系の分野の方、異分野の企業で生物、応用生命系の研究開発をした方、例えば機械や重工業的なイメージがある企業で実は生物学的な分野のこともやっている、なんてところだと参考になるかなと思います。
78	水産・食品・環境コンサル
79	飲料系の企業の話を書きみたいと思います。
80	水産生の割合が一定数あることから、水産会社を1枠確保してほしいと感じた。しかし、今回、食品会社があったので、すごく興味を持てた。
81	何らかの検査機関や試験機関
82	飲料
83	マスコミ関係
84	化粧品、香料など
85	マスコミや商社
86	松谷化学工業の方に香川大学との希少糖での産学連携についての講演があれば必ず聴きに行きます。
87	食品関連企業（欲を言えば水産物をメインに取り扱う企業）
88	幅広い食品を扱っているメーカーで研究を行っている人の話や、今回の授業は函館で受講者のうち3分の1くらいだったので、水産系の会社（水産食品メーカー、造船・・・）の方が来てほしかった。
89	修士、博士課程を卒業して研究職を経ないキャリアパスを歩まれた方々のお話もお聞きしてみたいです。
90	化粧品業界、飲料業界
91	食品系の商社
92	水産の餌料会社の講演が聞いてみたいです。
93	キャリアマネジメントセミナーで講演して下さる講師の方と同じ業種の方
94	化学メーカー、製菓会社
95	天然物化学に関する企業
96	食品素材メーカー
97	食品メーカー（カゴメ、サントリー、ハウス食品など）
98	化粧品、香料など食品系に興味があるので講演してほしいです。
99	タバコ、菓子、飲料等の嗜好品の風味の研究をしている方の講演を聞いてみたい。
100	飲料メーカー、国立研究所、化粧品メーカー
101	商社、上下水道に関する企業、インフラ

#### [4]Advanced COSA (1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

1	少し長かったように思いました。
2	企業の方と関わる機会が少なく、「企業が求める博士像」が鮮明にイメージできていないので、本講座のように企業の方の生の声を聴ける機会は貴重であると思った。
3	博士課程のメリットや、求める人材などについてキャリアマネジメントセミナーでも同様のことを勉強したのでA-COSAでは具体的に企業で取り組んでいることや研究内容をもっと掘り下げてよかったです。

4	企業のベテランの方だけでなく、就職して2年の北大ドクターの先輩のお話しが聞けて良かった。
5	質疑の時間はもう少し短くしてもいいと思う。
6	私は農学系だが、工業系の企業の講演も聞くことが出来て新鮮だった。工業系でも生物に関わることも研究していることも知ることが出来る良い機会でした。
7	普段は得ることのできない情報を知ることのできる大変良い機会でした。また、講師の皆さんが大変熱心にお話ししてくださったことには感激致しました。要望としてはすべての企業さんでプレゼンの印刷を用意して欲しいと感じました。
8	Hi-Systemの登録以降の履修届の方法がよくわからなかった。水産に配信してくれるのは助かる。⇒履修登録は各部署の教務課が管理しています。
9	就職までの間、学生生活でやっておくべきことの指針となった。
10	企業の研究開発について無知でしたが、今回受講することで、具象的なイメージを持つことができました。第2回の参加も検討したい。
11	非常に参考になりました。ありがとうございました。
12	参考になるお話が聞けたが、大学院の授業とかぶっていたので考慮していただければ嬉しいです。全学展開授業なので、部局ごとの事情はこちらでも把握できません、ご容赦を。
13	とても有意義なお話しが聞けて良かったです。
14	企業での研究開発の具体的なモデルケースのようなものを聞きたい。(〇〇という製品はどのような経緯で開発されたのか、何人くらいが関わるのか、どのくらいの期間かどのような職種の人が携わるのか)
15	色々な技術の話、博士課程に進んだ際の就職話が聞けて良かった。修士で就職した人の話も聞いてみたいなと思った。
16	様々な業種の話を知ることが出来て非常によかった。結局のところどの業種でも様々な分野の専門を必要としていることを知れたのは就活を行う上で非常に良かったと思う。
17	博士課程の人や、博士課程に進む予定の修士課程の人向けの講演が多い気がしました。修士卒予定の人向けの講演もしてほしいです。⇒人材育成本部のミッションは博士のキャリア開発支援なので、おのずと制限があるのです。
18	修士卒向けよりは博士向けではないか。博士進学を分野問わず勧めるのはよくわからなかった。
19	博士に関する内容が多く、次は修士卒の人の話も聞きたい。⇒ほとんどの講師は学位は持っていても修士が学卒で企業に入られています。
20	研究現場の実態を知ることができ、良い勉強になった。
21	あまり企業の人の生の声などをなかなか聴く機会がないため、企業研究と言う点がかかなり参考になりました。また、研究職に対する興味がより一層増した。
22	博士号取得のメリットが詳細に知れました。
23	企業がどのような人材が必要かがわかって良かった。
24	様々な企業のお話は聞けて良かったです。A-COSA(2)の受講も検討します。
25	このような企業の方と話しをする場がないので楽しかった。
26	博士に関係することが多く、修士の話が少なかった。ある程度修士にも関連させてほしかった。⇒企業の研究開発分野では博士の必要性が以前よりもっと高まっていることの反映だと思います。
27	博士卒、社会人2年目の方の話が印象深かった。出来れば、今後も年の近い人を呼んでほしい。⇒毎回必ずお呼びしています。
28	クリッカーを配るのであれば、もう少し活用していただきたいと思いました。北大出身の方のお話して、就職活動や企業と大学の生活の違いについて聞くことができたので参加して良かったです。⇒クリッカーの活用方法、ぜひご提案ください。
29	企業の方の求める人物像や就活に対する考え方、企業の研究開発について理解が深まり受講して良かったです。
30	普段聞くことが出来ない業務実態、研究者の仕事を知ることができ、今後の就職活動に役立てることが出来そうだと思います。
31	すごく貴重な時間になった。
32	世代の近い方のお話しが聞けて良かった。
33	毎年やってほしい。⇒毎年2回やっています、今年で12年目です！

34	普通は会えない人の話が聞けて刺激を受けた。
35	将来への覚悟を高めることができ大変なためになった。
36	博士課程修了後の進路についての内容が多く、博士課程の人にスポットが当たっている感じがしました。修士課程で就職する人向けの話や、修士修了で就職された経験談が聞きたいと思いました。⇒人材育成本部のミッションは博士のキャリア開発支援なので、おのずと制限があります。
37	すべての発表についてレジュメがあればもっと理解が進むのではないかと思います。
38	なんとなく聞いてみようという気持ちで受けたが、思った以上に充実した。また自分のやりたいことが見えてきた。
39	もっと研究について語ってほしい。会社のことではなく。
40	懇親会で講師の方々に直接お話しできたのは良かったと思います。A-COSA（1）の参加者が多かったためか、今回の会場は狭く感じました。
41	良い経験になった。
42	単位につられて受けにきたが、参加してよかったです。ありがとうございました。
43	MCで企業に就職されたOB・OGの方のお話しも聞きたい。
44	研究室で研究しているだけでは得られない企業の実情を知ることが出来て良かった。企業の研究開発に携わりたい意欲が沸いた。
45	様々な分野の方々から話を聞くことが出来、就職に対して、博士に対しての考え方が変わり、以前より前向きな気持ちで行動していけるようになってしまいました。
46	博士課程向けの話が多く、修士で就職を考えている身としては少し聞きたいこととずれていました。ただ、企業の人の研究開発の話など有意義なお話しを聞けて良かったです。
47	普段手を挙げて質問しにくいですが、紙に一度書いてあてられると聞きやすかった。聞きたいことを聞くことができた。
48	よかった。
49	色々な話を聞けてありがたかった。今すべきことが明らかになった。
50	9時開始は早いから9時半開始にしてほしい。
51	自分の専門じゃないときに、詳しく知らなくてついていけなくなった。
52	水産の人との質疑応答の際、カメラの位置の問題だとは思いますが、水産の人は画面に向けて話しているが、ご講演されている人は横を向いて話している（プロジェクターが横にあるため）ことが少し気になった。
53	とても参考になりました。今後大学生としてもっと濃い時間を過ごしたいと思いました。
54	クリッカーの使いどころがあまりなかったのもう少し講師の方の話の中か、質疑応答の時にも取り入れてほしいです。⇒反省しています！
55	他分野の講演をきくことができ、視野が広まった反面、話が難しく感じた。
56	修士が就職する上でのメリット、裏話など
57	クリッカーをもう少し使用して、参加型の講演になればいいなと思いました。
58	自分は生物・化学系なので、今回の内容にすごく興味を持ってましたし、満足しているのですが、物理・数学の方には（質問でも出たように）、話が理解できないことが多かったと思います。物理・数学の方のためのこのような授業があるとよいと思いました（企業がどう彼らを欲しがっているかどのような仕事をするか）。
59	自分たちと世代の近い方の講演をもっと聞きたかったです。海外の大学院に行かれた経験のある方のお話を聞いてみたいです。
60	各プレゼンテーションが「事業の説明」「自身のキャリアパス」の大まかな二部構成になっていたと思うのですが、後者も”事業の細かな説明”になっているときがありました。後者では、もっと講師の方のキャリアパスへの考え方、博士号を持っていてよかった/悪かった場面、学生のうちに身につけておくべきスキルなどを企業の方の視点から伺いたかったです。
61	過去のAdvancedCOSAの録画があれば公開してほしい。⇒動画サイトに公開しています。ご希望の方はS-cubicまでご連絡ください。



62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の皆様が、会社の事業や研究の紹介だけではなく、私たちの人生設計やキャリア形成に関わる話もおりまぜて話をしてくださったので、とても役立ちました。</li> <li>・様々な業種の方の話を聞くことができたので、やりたい業種を見つける参考になったと思います。</li> </ul>
63	バイオ系と工学系で別のコースだと自分の興味のある会社のみでより多くの話を聞けそうなのでいいです。
64	非常に密なお話を聞いて参加してよかったと思っています。
65	昨年受講しておけばよかった。
66	実際に企業の方から話を聞いて、就活に向けてこれからの研究生活で意識してやっていくべきこともわかり非常に充実した2日間でした。
67	すごく身になる講演ばかりで参加してよかったと感じた。 函館の人も懇親会に参加したいので、別日にやってくれたら嬉しいです。難しいのは承知していますが・・・。
68	会社の実態をよく知るいい機会であった。どのような企業でも共通して広い視野を持つことが大切ということで自身の研究だけでなく、多くの分野にアンテナをはっていきたい。
69	函館でも懇親会をやってほしい。
70	特になし
71	時期もちょうどよいが、もう少し参加企業が多いと嬉しいと思う。
72	レポート課題を事前に周知していただければ、より目的意識を持って講義を聴けると思う。
73	異分野の企業の話も聞くことができ、視野を少し広げることができたと思う。
74	質疑応答が長かった。
75	討論の時間が多く設けられており、より具体的な理解を得ることができ、よかったです。
76	質疑応答において、企業の方が学生の質問に対して、しっかりと答えていて、とても充実した講義であった。
77	4つの企業が講演してくれることから、比較して話を聞くことができ、それぞれの企業の方針や考えがとてもわかりやすかった。
78	とてもよい機会になりました。各企業がどのような事を行っているか、どのような事に力を入れているかをネットなどではなく、社員から実際にきくことができ、よかったです。より具体的に考えることができるようになった。
79	難しいと思うが、講師の方々もクリッカーを使っていただくと、より面白いものになると思う。
80	企業の研究開発について触れる機会ができてよかったです。
81	様々な業種のご講演者が参加していた事で、自分の専門に関わる話も聞くことができよかったと思います。キャリアに関する話題と企業に関する話題を両方聞けることはAdvancedCOSAの良い点だと思いました。
82	質疑応答時間がたっぷりとあり、よかった。
83	水産学部での中継授業では、疎外感を感じるがありますが、今回のAdvancedCOSAでは函館にもたくさん質問する時間を与えてもらい、積極的に参加することができました。
84	すでに私は就職活動を終え、来年から社会に出る身ですが、社会で活躍されている方々の話を伺うことで、より身が引き締まる思いでした。
85	各企業の最新の研究やそのマネジメントやキャリアについてはもちろん、実際にどのような能力を持つ学生が求められているのかや、大学での研究と企業での研究生活の違いなど、他ではなかなかきくことのできない話を聞くことができ、非常に充実した内容であったと思う。
86	色々な企業の話が聞いてよかった。自分でやりたい仕事を見つけるためには、まず色々な仕事を見て行く事が大事なのではないかと思う。その一環としてAdvancedCOSAは自分の役に立つと思う。

**[5] S-cubicへのご意見・ご要望などをご記入ください。**

1	プロジェクターの付近に座っている人が写りこむことが何回かあり、気が散ることがあった。
2	履歴書の添削をしてほしい。⇒人材育成本部はDC・PDの支援が主な活動です。MCの方はキャリアセンターをご利用ください。
3	企業の人と触れ合える貴重な機会を設けて下さりありがとうございます。

4	英語能力が大事ということだったので英語能力を伸ばせるような何か（e-ラーニングのようなもの）があると もっと嬉しい。
5	見つけにくい。入りづらいです。
6	修士も対象のイベントを増やしてほしいです。⇒S-cubicイベントは赤い糸会以外DC優先ではありますがMCも対 象です。是非ご参加ください。
7	今回初めてS-cubic主催のイベントに参加しました。何度か案内のメールがあったように思うのですが、「まだ 参加できるのでぜひ！」などの主旨のことが書かれていて「機械的なメールじゃなくて、後押しされている感じ があるなぁ…参加してみようかな？」と感じて登録しました。motivateするようなメールを送っていただき、あ りがとうございました。結果として、学ぶことや新たな視点を得ることができて、参加してよかったです。 人材育成本部のHPに左側にイベントバナーがあると思いますが、どの組織が主催しているのか一目でわかるとい いなと思います（S-cubic、COFRE、I-HoPのイベントが混ざって掲載されているので、少しわかりにくかったで す）。
8	博士向きの情報が多いイメージ
9	このようなセミナーを催して頂き、ありがとうございました。
10	色々なプログラムがあって素晴らしいと思う。函館にいたので、参加が難しいが、中継してくれるもので興味 があるものに関しては積極的に参加していこうと思う。自分は役に立つ人材なのか？と自問すると頭が痛い。